

# 結城一高の生徒が看護師体験

結城一高の2年生3人が10月9日から11日の3日間、職業体験で城西病院を訪れ、看護師の体験をしました。体験したのは、古田花怜さんとイクラモ・ウラ君、エスグエラ・キヤン君。

初日の9日、3人は病院内を見学しました。救急処置室やCT、MRI、臨床検査室、内視鏡室、リハビリ室、手術室などを訪れ、それぞれの部署の専門家から概要などを聞きました。放射線技師が将来の希望職種の一つというエスグエラ君は、放射線技師の説明に真剣に耳を傾けていました。

午後から看護師の体験に入り、血圧測定や聴診器の体験、車いすやストレッチャーの体験もしました。

2日目からは、実際の看護業務を見ながら、食事の配膳や病室などの清掃、患者さんの手術や診察の付き添いなども体験。脳外科では、CT画像を患者さんとともに見て、医師から脳の構造や疾病が起きた時に脳がどのような状態になるのかなど、普段できない体験をしました。

古田さんは「中学校の時に親族が城西病院に入院し、その時の看護師さんのやさしさが印象に残り、看護師にあこがれていました。今回の体験で看護師が患者さんに大きな声でお話しし、患者さんが笑顔でこたえ、元気を分けてもらっていると感じました」と話していました。イクラモ君は小さな時にけがをして城西病院に入院した経験から「いろんな体験をして初めてのことばかりでした。入院した時にいい病院と思い、体験学習に参加しました」と話していました。 2019年10月11日

